

ふるさと写生会

芸術の秋。田麦山小学校の子どもたちは田麦山の各地域に散らばり、豊かな自然あふれるふるさとの景色を描きました。作品は10月21日に行われる文化祭に展示される予定です。

(9月18日 熊野神社にて)

「政治は経済を論じても、経済で政治を論じてはならない」と、近頃の政治経済についての社会の動向を見ていると、一段とその感を深くしている。事業の採択を費用対効果をもつて優先的な判断基準とする考え方が行政に導入されてから十年程になる。この費用対効果の原理こそ、経済(活動)の中心をなす概念である。ところで経済活動の最も活発な場としての都市の対極にあるのは、中山間地に存在する農村と云ってよいであろう。日本の国土のほぼ七割を占めるこの中山間地は、国土保全上重要な位置を占めることも、少子高齢化の強い影響を受け、過疎や豪雪と言った条件不利地域でもある。つまりこの都市と農村は、経済的には強者と弱者の関係にあるとも言える。そこには、均衡ある国土の発展を国家の政策目標とした公平・平等と言つ政治の原理が機能してきた歴史がある。そのことは、人間の貧困からの脱却

町長室から ④

川口町長 星野和久

と云う近代国形成過程における大命題でもあったのである。六月二十一日の政府の経済財政諮問会議がまとめた経済財政運営の基本方針によれば、地方は均衡ある発展から個性ある地域の発展に理念展開するとしている。つまり、このことに象徴されるように「経済で政治を論じてはならない」のである。バブル経済破綻以降の長引く景気の低迷と国家財政の窮乏、これの立て直しを緊急の国家的課題とする余り、経済最優先の側面からしか国家のありようが論じられなくなってきた。このことに危惧の念を抱くのである。そこからは、将来にわたる地域間の格差の拡大と貧富の差の拡大が強く懸念される。このように偏った特殊な時代の潮流の渦中において、最も身近な市町村合併が席捲推進されていることを、私達はしっかりと見据えておく必要がある。



川口の山野草 ⑤

ヒカゲノカズラ(ヒカゲノカズラ科)

別名 キツネノタスキ。テングノタスキ

あしひきの山葛(ヤマカヅラ)に置きかえらるる

得難きかげを置きや枯らさむ

萬葉集 東歌 卷14-1355七三

(あしひきの山に生えるひかげのかずらの、そうそうは得がたいのをせつかく見つけたのに、採ら

ずそのまま置いて枯らしてしまうのだろうか。きれいなあの子をものにしたよ……)の意。「あしひきの」という山の枕詞の出どころは、足を引きずりながら登る意だとか、山裾を長く引く意、また葦を引く意だとかという説もあります。確定はされていません。しかし、現代人の感覚からも「あしひきの山」という流れはきわめて美しく、広く澄みわたるイメージをどことなく抱かせるから不思議です。山葛(ヒカゲノカズラ)はひかげのかずらのことですが、ここには美女を暗示しており、「ましばにも得難き」は、ましばは得ることなど容易ではないという意味です。ヒカゲノカズラは山裾の比較的明るい所を好み、茎はひものように長く伸びて、ところどころで枝分れして地面を這い、2mにもなります。葉は硬いとげのようで、長さ4mm~6mm、幅は0.5mmと小さく茎の周囲にびっしりとつきます。ヒカゲノカズラには花はなく、夏の頃這っている茎から細い茎が分れて立ち、その先に胞子の入った袋をつけます。胞子は黄色で薬用とされました。(写真・文 木沢 鈴木良治さん)

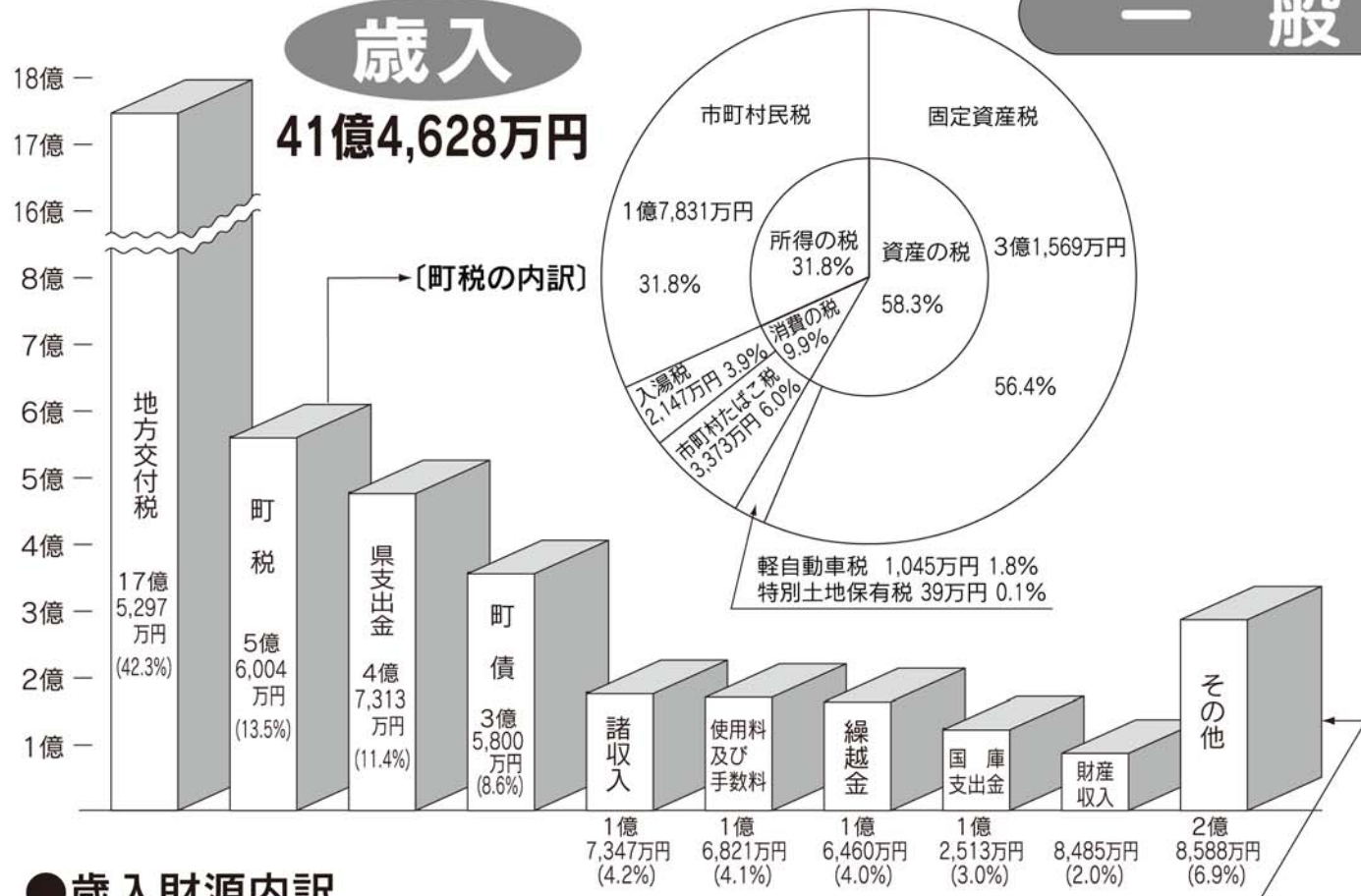
あとき

一年で一番嫌いな季節は「秋」。楽しいことがいっぱい夏の夏が終わると、秋の涼しく乾いた空気が寂しい気分をささるから。それに、秋の爽やかな体を欲するまま、ついつい食へ過ぎて後悔するから。変わりやすい秋の空と天気予報を眺めながら、羽織るものをもつ一枚持つていくかどうか悩まなければならぬ。ついでに紅葉狩りやきのこ狩りもしてみたい！見知らぬ土地へ感傷に浸りながら「秋の味覚を求めてぶらり一人旅」なんてのもいいんじゃない？…案外秋っていいのかも…。

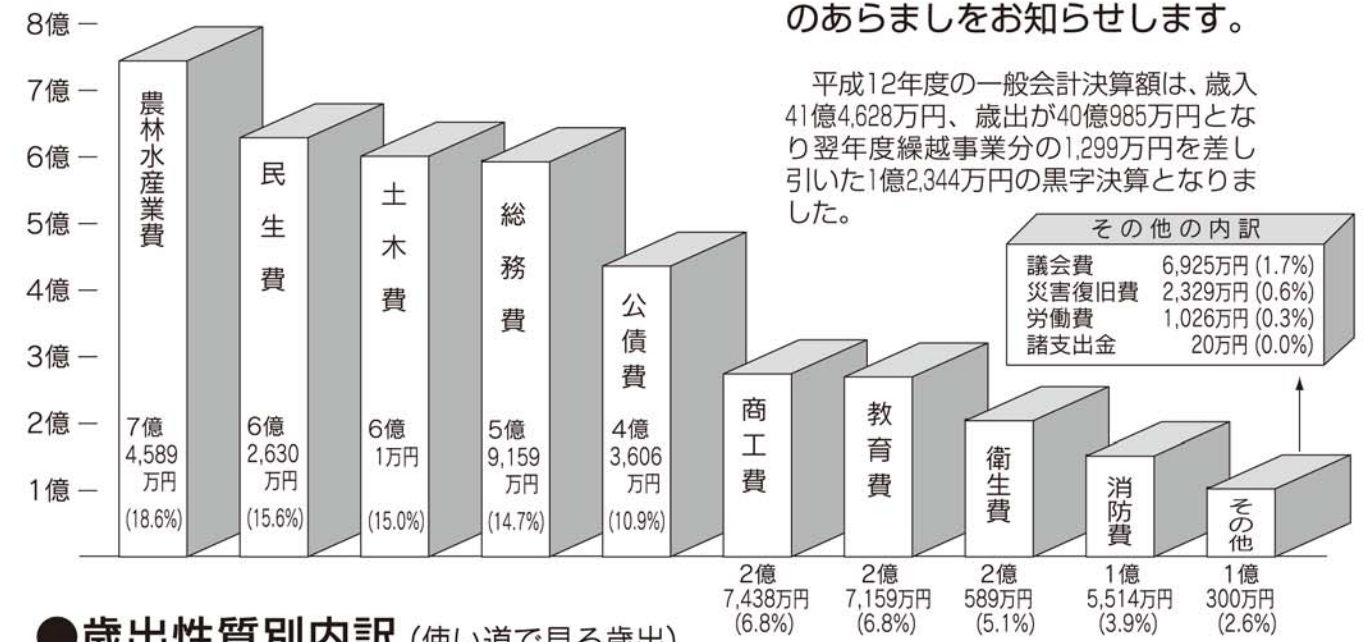
平成12年度 町の決算

歳入総額 65億 560万円
歳出総額 62億7,829万円

一般会計



歳出
40億 985万円



9月定例議会において平成12年度の決算が認定されました。

一般会計と5つの特別会計及びガス事業会計を合わせた歳出決算総額は、62億7,829万円となり、前年度より4億8,812万円の減額となりました。

一般会計と特別会計に分けて決算のあらましをお知らせします。

平成12年度の一般会計決算額は、歳入41億4,628万円、歳出が40億985万円となり翌年度繰越事業分の1,299万円を差し引いた1億2,344万円の黒字決算となりました。

●歳入財源内訳

依存財源	自主財源	その他の内訳
28億6,959万円	12億7,669万円	
<ul style="list-style-type: none"> 地方交付税 県支出金 町債 国庫支出金 地方消費税交付金 	<ul style="list-style-type: none"> 地方譲与税 自動車取得税交付金 利子割交付金 地方特例交付金 交通安全対策特別交付金 	<ul style="list-style-type: none"> 町税 諸収入 使用料及び手数料 繰越金 財産収入 繰入金 分担金及び負担金
構成比 69.1%	30.9%	

指標でみる

用語チェック

- ◆**依存財源**
地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、町債などの収入をいいます。
- ◆**自主財源**
町が自主的に収入しうる財源で、町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、諸収入などの収入をいいます。

財政指標	財政力指数		経常収支比率	
	地方公共団体の財政力を示す指数で、1に近く、あるいは1を越えるほど、財源に余裕があるものとされる。	財源構造の弾力性を測定する指数で、70~80%が適正数値である。この比率が低い方が自由に使える資金が多いことになる。	年度	川口町
12年度	0.261	82.4		
11年度	川口町	0.265	80.0	
	県平均	0.393	79.0	
	町村平均	0.352	78.4	

財政事情

公債費比率		起債制限比率	
町債（借入金）返済額の一般財源に占める割合をいい、数値が低いことが望ましい。	現在借りている借金が妥当かどうかを判断する数値で、過去3年間の平均が20%以上になると町債の発行が制限される。		
9.4	7.9		
9.1	7.8		
14.7	10.2		
14.2	9.8		

用語チェック

- ◆**義務的経費**
極めて硬直性の強い経費で、その支出が義務づけられた任意に削減できない経費をいいます。
- ◆**投資的経費**
施設を建設したり、道路や学校などを整備するための経費をいい、その効果が将来に残るものに支出される経費をいいます。

特別会計の決算

限られた財源で効果的な財政運営

国民健康保険特別会計



	12年度	11年度
・歳入	3億8,316万円	(3億7,527万円)
・歳出	3億3,599万円	(2億9,082万円)
・差引	4,717万円	(8,445万円)

区 分	12年度	11年度
加入世帯数	806世帯	757世帯
被保険者数	1,713人	1,620人
1人当たり医療費	340,244円	332,646円
1人当たり保険料	64,811円	66,723円
1人当たり受診件数	14.9件	14.0件

老人保健特別会計

	12年度	11年度
・歳入	7億452万円	(6億9,504万円)
・歳出	6億9,833万円	(6億9,204万円)
・差引	619万円	(300万円)

区 分	12年度	11年度	
給付対象者数	70歳以上の者	1,087人	1,040人
	65~70歳の障害者	14人	21人
1人当たり医療費	655,607円	681,996円	
1人当たり受診件数	24.0件	23.8件	

介護保険特別会計(新設)

	12年度
・歳入	2億4,988万円
・歳出	2億4,128万円
・差引	860万円

区 分	12年度
被保険者数	1,484人
認定者数	161人
1人当たり医療費	158,483円
1人当たり保険料	7,764円
1人当たり利用件数	2.0件

簡易水道事業特別会計

	12年度	11年度
・歳入	2億1,677万円	(5億3,839万円)
・歳出	1億9,124万円	(5億2,317万円)
・差引	2,553万円	(1,522万円)

区 分	12年度	11年度
給水人口	5,646人	5,715人
給水区域内人口	5,808人	5,879人
普及率	97.2%	97.2%

下水道事業特別会計

	12年度	11年度
・歳入	5億8,609万円	(7億8,754万円)
・歳出	5億6,840万円	(7億6,564万円)
・差引	1,769万円	(2,190万円)

区 分	12年度	11年度
供用開始区域内人口	5,224人	4,779人
下水道普及率	88.9%	80.3%
水洗化率	70.2%	67.2%

ガス事業会計

◎収益的収支	12年度	11年度
・歳入	1億8,173万円	(1億6,592万円)
・歳出	1億5,908万円	(1億5,372万円)
・純利益	2,265万円	(1,220万円)
◎資本的収支	12年度	11年度
・歳入	3,717万円	(5,916万円)
・歳出	7,412万円	(8,431万円)
・差引不足額	3,695万円	(2,515万円)

(不足額3,695万円は、全額内部留保資金等で補てんしました)

区 分	12年度	11年度
供給件数	1,597件	1,594件
ガス販売量	155万8,238m ³	150万6,428m ³

平成12年度主な事業 (一般会計)

事業名	事業額	
 総務費	辺地・バス運行補助金	903万円
	J R送電線移設測量設計費負担金	584万円
	地域活性化施設整備用地購入費	4,662万円
	第4次川口町総合計画策定業務	336万円
 民生費	交通安全施設設置工事	210万円
	高齢者福祉対策 (保護措置事業、老人クラブ助成事業、日常生活用具給付事業、高齢者生活福祉センター生活援助員設置事業、在宅介護支援センター運営事業、介護予防生活支援事業、川口特別養護老人ホーム負担金)	1億9,308万円
	児童福祉対策(児童手当、児童措置費)	1億7,497万円
	身体障害者福祉対策 (更生医療給付事業、補装具給付事業、身体障害者保護措置事業、重度身体障害児日常生活用具給付事業)	1,176万円
 保健衛生費	県単医療費助成事業 (重度心身障害者、ひとり親家庭、老人・乳児・幼児医療費)	802万円
	町単独福祉対策 (父子手当、精神障害者・腎臓機能障害者医療費助成、特定疾患・精神障害者交通費助成、福祉タクシー利用料助成、介護者手当支給)	283万円
	小千谷地域広域事務組合負担金(衛生分)	9,307万円
	廃棄物収集業務	1,966万円
 農林水産業費	成人病予防事業 (基本健診・胃がん、子宮がん、肺がん、乳がん、大腸がん等の検診)	1,333万円
	新山村振興等農林漁業特別対策事業 (水稻育苗施設新設工事補助金、活性化ビジョン作成費)	2億4,875万円
	中山間地域活性化総合対策事業 (集出荷場・保冷库増設、籾乾燥調整施設、農業機械購入費補助金)	9,954万円
	基盤整備促進事業 (石田農道改良舗装、西川口水路改修)	7,742万円
 商工費	農村総合整備事業 (集落道上河原線改良舗装、中原農道改良舗装)	5,059万円
	林道事業(上川線開設)、きのこ王国支援事業(菌掻機、接種機、詰機他)	6,482万円
	商工振興のための貸付金	3,400万円
 土木費	宿泊施設改修工事	615万円
	まちづくり総合支援事業(川岸地区) (区画道路、公園整備)	1億872万円
	克雪対策事業(凍雪害防止事業、防雪事業、除雪機械整備事業)	4,257万円
 消防費	住宅用地造成事業(川岸地区)	3,283万円
	道路改良・舗装事業(改良4路線、舗装2路線)	1,857万円
 教育費	小千谷地域広域事務組合負担金(消防分)	1億2,176万円
	消防施設整備事業 (防火水槽1基、動力ポンプ付積載車1台、小型動力ポンプ1台)	966万円
 教育費	小・中学校管理費	1億1,220万円
	生涯学習推進事業	1,620万円
	奨学資金貸付事業、外国青年招致事業(英語指導助手)	1,255万円

荒屋遺跡が語りかけていること

荒屋遺跡の調査を行います

皆さん荒屋遺跡をご存知ですか？この遺跡は、西川口荒屋地区にある、今から約1万3千年前の旧石器時代の遺跡です。

1958年に芹沢長介氏、1988年・1989年に東北大学によって発掘調査が行われ、数万点の遺物をはじめとし、当時の人々を知る上でとても貴重な結果が得られました。

このたび教育委員会ではこの貴重な遺跡の範囲を調べるために、県教育委員会の協力を得て発掘調査を実施することにしました。

発掘風景 (1989年)



- 荒屋遺跡調査日程
10月22日(月)～11月9日(金)
※土・日は休み
- 現地説明会
11月4日(日) 10時～14時

荒屋遺跡とは？

荒屋遺跡の遺物の出土量は全国的に見ても有数のものです。出土した石器の中で、特に特徴的なものが細石刃(さいせきじん)と呼ばれる石器です。これは長さ2cm、幅約0.5cmの細長く、カミノリのような鋭い刃を持った石器で、動物の骨から作られた柄の両側に埋め込んで槍として使われました。

もう一つ、特徴的な石器は、彫刻形石器と呼ばれているものです。これは、現代の彫刻刀のような形をした刃を持った石器で骨や皮を加工するために使われたようです。

また、この遺跡で発見された彫刻刀形石器は、とても特徴的な形をしていることから、荒屋型彫刻刀と呼ばれています。

これまでの研究成果によると、荒屋遺跡のような細石刃と彫刻刀を特徴とする遺跡は、本州北半、



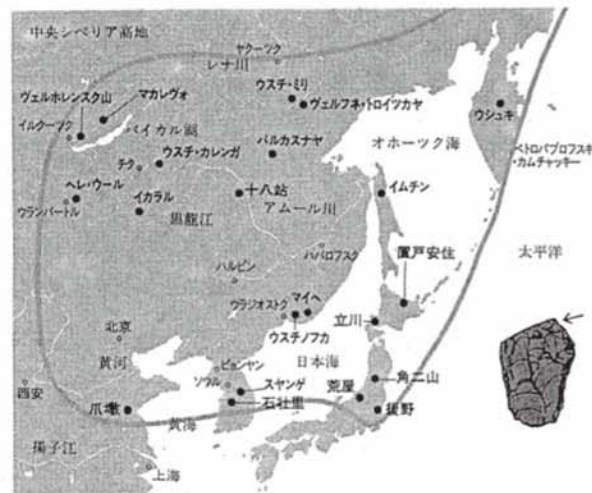
荒屋遺跡出土の細石刃(右)と彫刻刀形石器(左)

北海道、シベリアに広がっていることがわかります。

さらに、遺跡の年代がシベリア、バイカル湖周辺で最も古く、北海道から本州へと進むほど新しくなっています。このことから、これらの遺跡は、バイカル湖周辺を故郷とする人々が生活の場を広げる中で残された遺跡だと考えられています。この人々は、現在の日本人のルーツの一つと考えられています。

荒屋遺跡は、この日本からシベリアに広がる石器文化がわが国で最初に確認された遺跡なのです。

一方、荒屋遺跡では当時の人々が地面に掘り窪めた穴などの跡(これを遺構といいます)が多数発見されています。わが国の旧石器時代の遺跡で荒屋遺跡ほど多数の遺構が発見されている例は他に



荒屋型彫刻刀形石器の分布
毎日新聞社「日本のあけぼの」最古のハンターより

にありません。

当時の人々は、狩りをしながら一年の間に生活の場を転々とかえてゆく移動生活を送っていました。

多数発見された遺構から、荒屋遺跡は当時の人々が移動生活の中で繰り返し訪れる、とても重要な場だったと考えられます。

1万3千年前は、長く続いた氷河時代が終わりを迎え、より温暖な気候に変わり始める時期です。荒屋遺跡は、この激動の時期に人々がどのような暮らしをしていたかを、今の私たちに語りかけてくれる重要な遺跡なのです。

豊かな長寿社会をめざして

「敬老・老人福祉のつどい」を開催

敬老の日より一足早い9月12日、生涯学習センターにおいて、町と町老人クラブ連合会主催による「敬老・老人福祉のつどい」が60歳以上の高齢者500人余りの参加者を集め、開催されました。つどいでは、金婚を迎えられた18組の皆さんに町からお祝い状と記念品が贈られ、また、長年老人

クラブ活動で功績のあった6名の皆さんと1団体に、北魚沼郡及び町の老人クラブ連合会から記念品と賞状が贈られました。9月4日には90歳、95歳以上の皆さんと米寿を迎えられた皆さんにお祝い状と記念品が町から贈られました。

インタビュー

浅間藤太郎さん、95歳。
趣味は小説を読むこと。

荒屋にお住まいの浅間藤太郎さんは現在95歳。庭の草取りや洗たくまでこなしてしまう元気なおじいちゃんに、まめな秘けつをお聞きしました。



「元気で長生きしてね」
(ひ孫の隼斗ちゃんと一緒に)

子どもの頃はぜん息がひどく、学校に通うだけでなんぎくなるほど体が弱かったけれど、家の人に休まず登校させられたのがよかったのかな。昔から酒は飲まないし、たばこもやめて、すっかり元気になりました。

趣味は読書。暇さえあればいくらでも分厚い小説を読んでいます。早寝早起きして、1日3食きちんと食べて、体は動くし頭もみっしり。時々風邪ひいたって自分で歩いて診療所まで行けるし、健康なのがなによりありがたいね。

長寿おめでとうおめでとうございます

90歳以上の皆さん：明治45年3月31日以前生
(平成13年9月1日現在 敬称略)

丸山	小丸	中山	関野	野田	網野	高野	川井	奥村	古田	浅間	平澤	小山	山崎	田中	岡村	伊佐	喜多	小関	星野	野口	喜多	佐藤	網藤	佐藤	
テサ	新造	千代乃	チヨク	イキ	長吉	フジ子	太郎	與太郎	ツル	藤太郎	晋	セツ	ヨキ	ソメ	マスエ	ムメ	タツ	タツ	トメ	ヨシ	キク	タツ	津勢	伊勢	
(牛ケ島)	(荒屋)	(川岸)	(川岸)	(川岸)	(川岸)	(川岸)	(川岸)	(中山)	(中山)	(荒屋)	(牛ケ島)	(大形)	(相川2)	(川岸3)	(川口1)	(川口1)	(上河原)	(八郎場)	(原新田)	(川口6)	(前村)	(川岸)	(武道窪)	(中山)	
93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	94歳	94歳	95歳	95歳	95歳	95歳	95歳	95歳	96歳	96歳	96歳	96歳	97歳	97歳	97歳	98歳	98歳	99歳
井浦	廣井	野口	喜多	星野	佐藤	平澤	平澤	渡邊	鈴木	堀木	井上	郷澤	平澤	江島	山田	森山	小吉	阿西	佐藤	黒島	佐藤	古田	大淵	小宮	
文治	カウ	廣春	徳松	キヨ	ミヤ	ツメ	カウ	マツ	春三	イサ	フヂ	ハタ	タマ	ラ吉	ト吉	サト	美代	ミタ	ナツ	キユ	慎勇	大野	小原	原新田	
(相川3)	(相川2)	(前原)	(長坂)	(牛ケ首)	(野田)	(野田)	(川口7)	(川口5)	(川口1)	(川口1)	(相川3)	(荒谷)	(牛ケ島)	(大谷内)	(川口1)	(武道窪)	(荒屋)	(山相川)	(山相川)	(山相川)	(山相川)	(山相川)	(山相川)	(山相川)	
90歳	90歳	90歳	90歳	90歳	90歳	90歳	91歳	91歳	91歳	91歳	91歳	91歳	91歳	92歳	92歳	92歳	92歳	92歳	92歳	92歳	92歳	93歳	93歳	93歳	

川口町長選挙 川口町議会議員補欠選挙のお知らせ

告示日は11月20日 投票日は11月25日です

町選挙管理委員会では、平成13年12月24日任期満了に伴う川口町長選挙及び川口町議会議員補欠選挙(欠員1名)を次の日程で行います。

告示日 11月20日(火)
投票日 11月25日(日)

立候補予定者説明会

◇日時 10月30日(火) 13時30分
◇会場 川口町役場3階 第1会議室

選挙人名簿について

川口町長選挙及び川口町議会議員補欠選挙で投票できる方は、選挙人名簿に登録されている方です。

○新たに名簿に登録される方

- ・新成人…昭和56年11月26日以前に生まれた方
- ・転入者…平成13年8月19日以前に転入届を出した方

○他市町村へ転出した方は

投票日の前日までに他市町村へ転出した方は、投票することができません。

○選挙人名簿登録者数 (平成13年9月2日現在)

男 2,287人
女 2,420人
計 4,707人

次のような場合は 不在者投票をご利用ください

投票日に仕事や旅行などで投票所に行けない方はぜひ不在者投票をご利用ください。不在者投票は要件が緩和され手続きも簡単です。

◇日時 11月20日(火)~11月24日(土)
毎日 8時30分~20時

◇場所 役場前 不在者投票所
(駐車場に仮設建物を設置しています)

※できるだけ入場券を持参してください。

指定病院や特別養護老人ホームなどに入院・入所している方は、その病院・施設で投票できますので、病院等におたずねください。あおりの里に入所している方はあおりの里で投票できます。

投票所入場券が変わりました

参議院議員通常選挙から投票所入場券が従来の封書からハガキ様式に変わりました。

今回もこのハガキ様式の入場券です。世帯主あてに郵送で届きます。

世帯の有権者全員の入場券が印刷されていますので、個々に切りはなして投票所へ持参してください。

問い合わせ 町選挙管理委員会

☎ 89-3111 (総務課)



町消防団総合演習

9月2日、川口中学校を会場に町内外の来賓を迎え、町消防団員190名が参加し、町消防団の総合演習が行われました。
放水演習、分列行進、人員姿勢服装の点検、機械器具の点検や第3分団(相川・牛ヶ島・荒谷)によるポンプ操法の模範演技が行われ、日ごろの訓練の成果を発揮していました。
表彰式では、長年消防団幹部として尽力された前副団長の岡村慎成さんらに感謝状が贈られたほか、長期にわたる建物無火災の分団や功績のあった団員が表彰されました。

表彰された団員等 (敬称略)

川口町長表彰

■感謝状(退団者)

前副団長(本部) 岡村 慎成
前副団長(本部) 佐藤 邦夫

前分団長(第1分団) 北村 弘
前分団長(第2分団) 覚張 幸雄

前分団長(第3分団) 江島 一夫

■建物無火災表彰
連続2千日以上 第2分団

■精勤章30年以上
本部 副団長 関 真佐道

■精勤章20年以上

第1分団 分団長 上村 浩一
第2分団 副分団長 星野 浩

第5分団 副分団長 石坂 富雄
団員 角張 久

■新潟県知事表彰・新潟県消防協会会長表彰(伝達)

■幹部功績章

本部 副団長 関 正一
第6分団 分団長 星野 晴男

■精勤章30年以上
本部 副団長 関 真佐道

■精勤章20年以上
第1分団 分団長 上村 浩一
第2分団 副分団長 星野 浩

第5分団 副分団長 石坂 富雄
団員 角張 久

■新潟県消防協会会長表彰(伝達)

■優良団員章

第1分団 班長 中林 亨

第2分団 副分団長 丸山 勝政

第3分団 班長 山崎 太一

第4分団 班長 真島 松栄

第5分団 班長 小宮山義久

■功労章

第3分団 副分団長 星野 政博

第4分団 副分団長 丸山 裕幸

第5分団 副分団長 関 博之

■精勤章25年以上

第6分団 団員 星野 勝利

■精勤章15年以上

第2分団 分団長 喜多村 彰

第3分団 班長 綱 彬宏

第5分団 班長 渡辺 春夫

第6分団 班長 星野総一郎

■勤続章10年以上

第2分団 副分団長 丸山 勝政

第3分団 団員 丸山強一郎

第4分団 団員 広井 一弘

第5分団 団員 関 幸和

第6分団 団員 石坂 俊雄

■勤続章7年以上(班長、機械係、ラッパ手通算)

第2分団 団員 古田島栄祐

第4分団 団員 小西 勉

介護保険のお知らせ

介護保険料が変わります
介護保険第1号被保険者保険料が10月より変わります。これは、今まで高齢者の負担が急激に増えないようにと、保険料の半分を国が負担していた特別対策が、9月で終了し、10月から本来の保険料になるためです。保険料は今までの保険料の概ね2倍になります。ご理解とご協力をお願いします。

普通徴収から特別徴収に
現在、普通徴収(納付書による納付)の方で条件を満たしている方は、10月より年金から天引きする特別徴収に変更になります。

保険料変更や徴収方法の変更等の詳しい内容は、普通徴収の方は7月、特別徴収の方は8月にそれぞれ被保険者の方に送付されている通知書をご覧ください。

問い合わせ 町民課 ☎ 89-4418

〈9月号の訂正〉
本誌9月号4ページ2段目中央タイトル 訪問介護
訂正前 訪問介護
訂正後 訪問看護
看護婦(士)が訪問してサービスを提供するのは「訪問看護」です。

小麦色の夏のかわぐちっ子

自然の中で元気いっぱい大暴れ!

あつーい夏休み!小麦色のかわぐちっ子が大自然の中で元気いっぱい楽しみました。その様子をちよつと紹介します。



青空の山頂で気分爽快

7月28日 自然イラスト教室

みんなが首をながくくして待っていた夏休みが始まり、かわぐちっ子クラブでは松岡達英先生の「自然イラスト教室」が開催されました。

自然を利用した楽しい工作が体験できるこの教室。今年のテーマは、「風」!「風で遊ぼう!空飛ぶ飛行物体」ということで、いろんな素材で飛行機を作りました。

1枚の紙に蝶やトンボ、魚などをイメージした下絵を描き、ハサミでチョキチョキ…。2機目は、発泡スチロールの板と割り箸でカッコイイ飛行機が完成!

みんな得意げに、空に向かって飛ばしました。

8月5日~6日 ジュニアリーダーキャンプ

小・中学生33名が長野県で2295mの岩菅山縦走に挑戦しました。



山頂までもうちょっと!

朝6時集合で眠い眼をこすりながら…と思いきや、岩菅山に向かうバスの中で子どもたちは元気いっぱい!ところがいよいよ登山が始まると、階段ばかりの登山道に顔も険しくなり、さらに岩場の道が広がって…さすがのかわぐちっ子も終始無言。

途中草むらで「ガサガサ」という物音が…。野生のサルが“ひょこ”と顔を出し、こちらに向かってあいさつをしてくれました。突然の訪問者にかわぐちっ子は、も



初めてのカヌーに挑戦

もちろん大喜び!
夜は、ちよつと失敗したスパゲッティに美味しい焼き肉で夕食。お腹いっぱいになった後は、バンガローで友達と一緒に楽しい一夜を過ごしました。

2日目は、地獄谷野猿公園で生まれたばかりの猿や天高く吹き上がっている噴泉を見学。善光寺でのお戒壇めぐり体験では、まっ暗闇の中、(懐中電灯を点けた反則者もいましたが…)悲鳴をあげな

からも何とか全員出口にたどり着きました。

最後は、間山温泉「ぼんぼこの湯」で汗を流し、登山の疲れを癒しました。

8月10日 中学生ゴルフ教室

昨年から始まった「中学生ゴルフ教室」。堀之内ゴルフ練習場で練習した後、さっそく川口ゴルフ場でラウンドしました。

全員1回パーをとるなど、初心者とは思えないスコアに指導者もびっくり!将来この町からプロゴルファーが誕生するのも夢ではないかも?

8月19日 リバーフェスタ2001

魚野川の川口橋付近で、游川の会のご協力により「リバーフェスタ2001」が開催され、町内各地域から親子100名が集まりました。ちよつと冷たい流れる自然のプールでカヌーに挑戦したり、ライフジャケット姿で流れに身を任せてぶかぶか浮かんだり、普段では体験できない楽しい川遊びを満喫しました。

8月29日

アウトドアクッキング

釜焼きピザに挑戦!
残暑の厳しい8月の終わり、田麦山トレセンランドで夏休み最後の「かわぐちっ子クラブ」が行われました。

今年のメニューは、釜焼きピザ!何とか丸く伸ばしたピザ生地



おいしくできたよ!

に、野菜にイカやエビ、コーンなど、自分の好きなトッピングとチーズをたっぷりのせ、いざ釜の中へ。焼きあがったピザは、外はパリッ、中はふんわり、みんなとてもおいしそうに食べていました。(思ったより火が強く、丸焦げピザも何枚か…)

各種大会結果

お盆囲碁、将棋大会
(9月2日 生涯学習センター)

将棋の部

総合優勝	佐藤 正茂
準優勝	関 勝人
3位	星野 健一
囲碁の部	
総合優勝	長谷川英二
準優勝	宮越貞治郎
3位	吉原 昌隆

〈訂正とお詫び〉本誌9月号11ページ「町内各種大会結果」欄の第28回町内小学校親善水泳大会結果の6年女子優勝者名に誤りがありました。訂正して深くお詫びいたします。

訂正前

- 自由形 100M 関 裕子(川口)・中林美沙記(川口)
- 平泳ぎ 50M 小林美紀(川口)

訂正後

- 自由形 100M 関 裕子(川口)
- 平泳ぎ 50M 小林美紀(川口)・中林美沙記(川口)

町の図書館から

- はやぶさ新八御用旅/平岩弓枝
 - あなたはひとりじゃない/大平光代
 - ザ・ゴール/エリヤフ・ゴルドラット
 - 月を吐く/諸田玲子
 - ガルシアへの手紙/エルバード・ハバード
 - 愛の領分/藤田宜永
 - 村上ラヂオ/村上春樹
 - 人生の殻は何度でも脱げる/藤本義一
 - 馬耳東風/稲垣吾郎
 - ハリポッターと賢者の石/J.K.ローリング
 - ハリポッターとアズカバンの囚人/J.K.ローリング
 - トマト革命/石黒幸雄
 - 本当に強い人、強そうで弱い人/川村則行
 - ティーナ16歳、トンネルの中の青春/ティーナ・S
 - 残光/東直巳
 - 水滸伝 四道蛇の章/北方謙三
 - 幽霊予言者/赤川次郎
 - 石原慎太郎の季節/福田和也
 - 竹中教授のみんなの経済学/竹中平蔵
- その他続々入刊しています。ご利用ください。

HOT トピックス

身近な情報をお寄せください！企画商工課 ☎89-3112

交通安全 キャラバン隊来町



9月11日、交通安全キャラバン隊が当町を訪れ、内閣官房長官のメッセージを町に伝達しました。

これは、社団法人全国交通安全母の会連合会が、内閣府の委託を受け、「みんなですすめる交通安全全」をスローガンに、交通安全思想の普及と交通事故防止を目標として、会員手作りのキャラバン隊活動を、日本列島くまなく展開しているものです。

当町からは、町交通安全協会役員、保育園児等約100名が参加し、メッセージ伝達、保育園児対象の交通安全教室が実施され、交通安全を呼びかけていました。

保育園 だより

おはなし大好き！ 田麦山保育園



9月7日、「おはなし広場」の皆さんから楽しいおはなしをたくさんしていただきました。田麦山

若獅子チーム 郡大会で3位！

9月8日、9日の2日間、小出町で北魚沼郡小学生親善野球大会が開催され、当町からは「若獅子チーム」(田麦山)が出場しました。

郡内から20チームが参加し、若獅子チームは一回戦から楽勝に勝ち進んで行き、準決勝では惜しくも5対2で敗れてしまいました。が見事3位入賞を果たしました。



子どもたちは絵本が大好き！長いおはなしも真剣に聞いていました。

「おはなし広場」の皆さんのようにボランティアの方々がたくさん来園してくださることでいろいろな方とふれあうことができ、子どもたちはとても喜んでいました。

11月3日(祝)～4日(日) 会場：生涯学習センター及びイベント通り えちごかわぐち物語'11秋まつりのご案内

11月3日(祝)

○郷土料理コンテスト

川口の農産物を使い、そば打ち部門・えのき茸料理部門・創作料理部門の3部門で、料理の腕前とアイデアそして味を競い合います。

○表彰式典

町政功労者・フォトコンテスト・菊花展等

○ビッグプレゼントタイム

抽選会、ジャンケンゲーム等

○大道芸

○千年の森教室

植樹の講習、苗木の無料配布(ブナ・桜)

イベント通り

- ・川口産農産物直売コーナー
- ・売店コーナー
- ・ちびっこコーナー など

問い合わせ 農林課 ☎89-3113

11月4日(日)

○芸能発表会

13時30分～15時30分
出演者を募集！ 申込期限 10月15日(月)

11月3日～4日

○作品展

保育園児作品・小中学生絵画・一般絵画・書道・工芸作品・写真・木沢焼陶芸作品・パッチワーク・フラワーデザイン作品
出品者を募集！申込期限10月26日(金)
問い合わせ 教育委員会 ☎89-2119



一般商店・個人等、多数の参加をお待ちしています！

健康福祉フェアのご案内

今年のテーマは「食と健康」です。幼児期からの食による健康づくりについて北里大学保健衛生専門学院管理栄養士の講演と、労働衛生医学協会体育指導員による、誰でも、飽きずに、毎日できる健康体操の実技講習会を予定しています。

そのほか、福祉バザー、健康料理試食会、ちびっこ広場など、ご家族そろって参加いただけます。

詳細については後日チラシを配布します。ぜひお出かけください。

日時 10月14日(日)
9時30分～14時
会場 生涯学習センター
問い合わせ 福祉保健課 ☎89-4419

川口町農業フォーラムのご案内

これからの川口町の農業を経済的側面から新潟大学経済学部教授小澤健二氏に、消費者の立場から埼玉生協の方にそれぞれ講演をいただきます。

その後、生産者を交えてのパネルディスカッションを予定していますので、作るだけの農業から生産販売までを視野に入れた農業について一緒に考えてみませんか。

集落夢づくり事業 大字中山地区で「ふるさと・夢づくりの会」が発足！

地域の活性化を目指して今年度から始まりました「集落夢づくり事業」に向けて、他の地域をさがし第1号の委員会となる「ふるさと・夢づくりの会」(代表・内藤ちい子さん)が大字中山地区で発足しました。

有志が集まり話し合いを重ねてきたなかで、9月25日、中山会館において、中山、野田、竹田、牛ヶ首の各地区から集まった計17名が中心となり、大字中山地区で住みよい魅力ある集落づくりに取り組みしていくことが決まりました。

「ふるさと夢づくりの会」では、豊かな自然やキャンパス川口等の施設を活用しながら、地域づくりへの具体的な取り組みを検討していく予定です。



稲わら焼却はやめましょう

稲を刈り取った後のわらはは、有機肥料として大切な資源になります。田に地力をつけ、おいしい魚沼米を出荷するためにも、わらはは焼却せずにすき込みましょう。

教育委員・固定資産評価審査委員を選任

町議会9月定例会において、教育委員会委員(2名)、固定資産評価審査委員会委員(1名)の任期満了に伴い、次の方々が選任されました。

●教育委員会委員
内山 敦夫さん(田麦山) 再任
山田 智さん(西川口) 再任

●固定資産評価審査委員会委員
関 登代一さん(西川口) 再任

教育長に内山敦夫さんが就任
9月20日、教育委員会が開かれ、教育長に内山敦夫さん(田麦山)が互選されました。任期は4年。

みんなの広場

サークル紹介 ③



〈除雪ボランティア〉

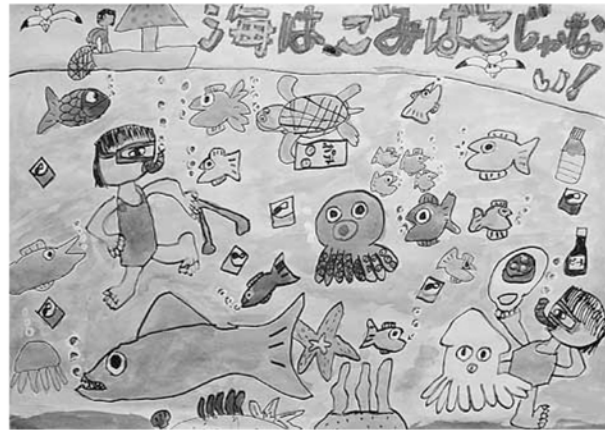
昨年に引き続き、除雪ボランティアを募集します。多くの方から参加いただき、1世帯でも多くの除雪困難な方たちを応援しませんか？どなたでも参加できます。

期間 降雪期の除雪が必要な期間の原則日曜日のみ

除雪対象者 町内除雪困難世帯(社会福祉協議会と連携し対象世帯を決定)

連絡先 星野正美 ☎89-3089

※仕事の都合により夜9時以降に連絡ください。



水落晴香さん

(田麦山小学校 4年)

いきいきギャラリー

私は海をかきました。海はきれいだけどゴミをすてたらきたなくなります。気持ちよくおよげないと困るから、ほんとうにゴミをすてないでと思いながらかきました。空のもようと人間がゴミをひろっているのも工夫しました。

皆さんのページです。投稿をお待ちしています！企画商工課 ☎89-3112



元気です！
かわぐちっこ ⑤
丸山 泰奈ちゃん(野田・2歳)
昭夫さん・幸子さん

ビデオを見ながら一緒に踊るのが一番の楽しみです。「やーは、お姉ちゃんだから踊れるんだよ」と一人前に照れたりします。これからも元気いっぱい遊ぼうね。

今月の味じまん ④ ささみとわかめのヘルシー蒸し



どこのおうちにもあるお手軽乾物、カットわかめ。ノンカロリー・食物繊維たっぷりの食材です。戻さずいきなり調理して、わかめの塩分も調味料代わりに使ってしまう簡単料理を紹介します。

●材料(4人分)

- A [カットわかめ.....4つまみ
- 水.....300cc
- B [鶏ささみ.....4本
- 塩・こしょう.....適量
- 酒.....少々
- かたくり粉.....大さじ1
- しょうゆ.....大さじ1
- C [レモン汁.....1/2~1個分
- ごま油.....小さじ1
- 長ねぎ(白い部分).....1本分

●作り方

- ① ささみは一口大のそぎ切りにして、Bの調味料で下味をつけ、かたくり粉をまぶしておく。
- ② フライパンにAのカットわかめと水を入れて火にかけ、煮立ったところに①のささみを並べ、ふたをして蒸し煮にする。
- ③ 鶏肉に火が通ったらふたをあけ、強火にして残っている水分を飛ばす。
- ④ 長ねぎはせん切りにして水にさらし、白髪ねぎにしておく。
- ⑤ 器に盛り、上に④の白髪ねぎをのせ、Cのタレをかける。

提供：食生活改善推進委員協議会

星野 晴美 (川口3) ☎89-3617

佐藤クニ枝 (川口6) ☎89-2881

ぬくもり荘で防災訓練を実施



9月19日、小千谷地域消防署川口出張所の皆さんのご協力の下、職員の防災訓練を実施しました。訓練内容といたしましては、①職員をディサービス利用者に見立てた避難誘導②初期消火のための消火器の取り扱い指導です。避難誘導については、いつも笑

顔で利用者の方々と接する職員とは違い、厳しい眼差しで緊張感のある訓練でしたので、消防署職員の方からもお褒めの言葉を頂きました。消火器の取り扱いについては、消防署職員の方から、親切・丁寧に指導を受け、実際に3人の職員から消火器を使い、火を消してもらいました。消火訓練を体験した職員は、実際行ってみると、なかなか火が消えなかったり、消火器の煙が思っていた以上に勢いよく出ることにはびっくりしたと感想を話してくれました。ともすると薄れがちな防災意識を再確認でき、有意義な訓練だったと思います。



たと思います。
ぬくもり荘ディサービス指導員
浅間 惣栄

俳句

大内迪子・保坂伸秋両先生をお迎ひして
公民館句会(8月5日)

拍手して一人見てゐる遠花火

山田 チヨ

新潟の花火大会は有名で、昔誘われたこともあるが、一度も見えていない。今夜は花火大会という日、何かの事情で行けず、一人留守番の作者は、速くに揚がる花火に思わず拍手を送って一人でみている。純心な人物像がうかがわれる。

ふらと来て三日泊れる夏羽織

鈴木 良仙

この句の夏羽織は効いている。新派の舞台でも観ているような。あまり働かずに、資産家の息子が主か、前ふれもなく来て、しかも三日も逗留していた。少々迷惑なことであるが俳句のいい材料にもなった。

句友みな日焼けしてをる句会かな

山田 久子

この句友の日焼けは遊び廻つての日焼けとは違う。農繁期のころ、畑の草取、など休むひまもないとき、全員が、日焼して健康な顔を描いた。暑い日焼でもある。そんな夜の句会のひとときが、又、宝物の時間でもある。

農継がぬ息子の吹ける祭笛

覚張 次郎

楽しくて、少し淋しい祭笛がきこえてきた。出て見ると、親の仕事の農業を嫌って継がぬ息子であった。どうしようもない子と思つてはいるが、その妙な音色に聞きほれている。そんなことが想像されて、奥行きのある句となっている。

背くらべ庭に園児と立葵
明日までの命と思ふ芙蓉咲く

星野智恵子

一雨に涼しき夜となり眠る

渡辺 裕一

準備よし夫のはづめる鮎解禁

小西シゲノ

夕立去る色鮮やかに虹残し

岡村佐和子

桔梗のひよっこり伸びて咲くもあり

小宮山トキ

何も手につかず炎暑の一と日暮る

星野 七朗

ねむらし顔(かんばせ)の汗流るまま

山田 悦

猛暑中畑の草の衰へず

三輪 京子

蝉鳴くや暑さをつれて暮れるまで

佐藤 信

夏木陰頼杖をつく野の仏

星野 きの

利かん坊蟬を恐はがりをりにけり

喜多村キヨ

武者行列馬上の将の汗光る

関 よし

夏祭若さはじける神輿昇ぐ

渡辺登子一

幼子の瞳清しく夏帽子

宮 ミヨ

空いっぱい三尺玉の火花火

江島 松露

我が町は坂の町なり蟬時雨

藤田 節子

神輿昇く若き娘を追ふカメラマン

覚張よう子

袍(ばち)を手に法被鉢巻里祭

丸山 トシ

紫蘇刻むすでに峰なす朝の雲

丸山 好枝

木洩れ日をかばせに載せ昼寝せる

上村たつお

喜雨の音聞きしは夢にあらざして

新宮 山紫

公民館句会 10月7日(日)生涯学習センター

※出句締切 午後1時

第13回川口町俳句大会

11月4日(日)午前9時 末広荘

短歌

向日葵も木槿も花色際やかに朝日に向かひ大きく
咲けり 佐藤 美智
漸くに歩き始めし女の曾孫に手を貸しやれば払ひ
森山 みえ